

「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

平成 26 年 3 月 29 日	
所属部局・職	霊長類研究所生態保全分野・修士課程学生
氏名	有賀 菜津美

<b>1. 派遣国・場所</b> (〇〇国、〇〇地域)	
長野県 妙高高原	
<b>2. 研究課題名</b> (〇〇の調査、および〇〇での実験)	
笹ヶ峰実習	
<b>3. 派遣期間</b> (本邦出発から帰国まで)	
平成 27 年 3 月 25 日 ~ 平成 27 年 3 月 28 日 (4 日間)	
<b>4. 主な受入機関及び受入研究者</b> (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)	
京大ヒュッテ (杉山茂氏)	
<b>5. 所期の目的の遂行状況及び成果</b> (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)	
写真 (必ず 1 枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの) の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。	
3 月 25 日より 4 日間、妙高高原の京大ヒュッテにておこなわれた笹ヶ峰実習 (積雪期) の報告をする。引率は、杉山さんと樋口さんがおこなってくださった。私は Group A に所属し、基本的に樋口さん、幸島さん、左海さん、横塚さん、沓間くん、樋口沙綾さんと一緒に行動した。	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 周辺散策 (スキー) 2 日目の午前中は、スキーをはいてヒュッテの周辺散策を行った。ゲレンデでのスキー経験はあったが、かかとの部分が上がるスキーは初めてはいた。そして、シールを貼って滑るのも初めてだったため、滑り方、転んだ時の起き上がり方をつかむのに時間がかかった。しかし、30 分も歩くと一番楽な方法が分かったので、楽しむことができた。周辺散策では、ウサギやキツネ、テンなどの足跡をみることができた。さらに、キツネは遠くから走り抜ける様子を見ることができた。</li> </ul>	<p>スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 3 月 25 日 (水) 移動</li> <li>● 3 月 26 日 (木) 午前：周辺散策 (スキー) 午後：山スキー</li> <li>● 3 月 27 日 (金) 午前：周辺散策 (ワカン) 午後：Igloo 作り</li> <li>● 3 月 28 日 (土) 帰路</li> </ul>
	
写真 1 地図を見ながら周辺散策	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 山スキー 2 日目の午後は、幸島さん、樋口さん、沓間くんと一緒に山スキーを楽しんだ。午前中の応用編として、地図を読みながら時間いっぱいまで山をスキーで登った。急な斜面ではいくらシールを付けていても体重を乗せる場所を間違えると、つま先に体重がか</li> </ul>	

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

かって滑り落ちてしまう危険性があり、緊張感を持って登った。最終的には標高約 1650 mのあたりまで登り、シールを外してヒュッテ近くまで滑り降りた。ゲレンデと違って雪が深く、なかなか体験できないシチュエーションだったため、よい経験となった。



写真2 上から休憩を挟みつつ滑り降りる

### ● 周辺散策 (ワカン)

3日目は、ワカンを装着し自分たちで地図を読みながらヒュッテの周辺散策をおこなった。この日もウサギやキツネ、テンなどの足跡を多く見ることができた。さらに、ウサギの食痕や糞、尿なども観察することができ、夏には見られない動物の痕跡を楽しむことができた。そして、幸島さんからユスリカ (*Chironomidae*) やセッケイカワゲラ (*Eocapnia nivalis*) について直接教えていただいたのは嬉しかった。セッケイカワゲラは雌雄みることができ、雌雄の見分け方や卵を持っているかどうかなどの識別をすることができた。今までも見ることはあったが、名前を知らなかったのもとてもよい機会となった。



写真3 ユスリカ



写真4 セッケイカワゲラ (左:メス、右:オス)

## 「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

- Igloo 作り  
3日目の午後は、グループごとに分かれて本格的な Igloo を作った。かまくらを作ったことはあったが、Igloo 作りは初めての経験だった。まず、雪をのこぎりで切り出すという発想から驚きで、最後までなるほどと思うことばかりであった。そして均等に雪を切り出す難しさや、雪の状態を判断しながらの作成にはとても夢中になることができた。最終的にはグループ全員が納得できる Igloo を作ることができ、とても嬉しかった。



写真5 Igloo の前にて集合写真

- まとめ  
全日程天候に恵まれ、全てのアクティビティを満喫することができた。秋と冬の実習を通して、季節の変化によって変わる山のアクティビティの多さに改めて気づいた。よいきっかけとなったので、これからも続けていきたいと思う。そして、地図読みやロープワークなどのスキルアップもしていきたいと思う。

### 6. その他 (特記事項など)

今回の実習を行うにあたり、素晴らしいプログラムに引率し、指導して下さった松沢さま、幸島さま、杉山さん、樋口さんには感謝するとともに、同行して下さった左海さま、市野さまに深く御礼申し上げます。本活動は、PWS より助成を得て、おこないました。ありがとうございました。